

『朝日新聞 DEGITAL』, 2023 年 4 月 11 日

<https://www.asahi.com/articles/ASR4B6V31R4BPTLC007.html>

朝日新聞デジタル > 記事

デジの広場

JR瀬戸大橋線が開業35周年、「リバイバルうずしお号」走る

福家司 2023年4月11日 10時15分



佐々木龍次駅長（右）らの出発合図で発車する「キハ185系リバイバルうずしお号」=2023年4月9日午前10時24分、JR高松駅、福家司撮影



JR 瀬戸大橋 線の開業35年を記念した団体臨時列車「キハ185系リバイバルうずしお号」が9日、高松—岡山間で運転された。同線は1988年4月10日の開通以来、四国と本州の架け橋として延べ3億人近くを運んできた。関係者やファンは、その歴史に思いをはせていた。

開業当時には最新鋭の車両だったキハ185系特急形ディーゼル車が、当時のヘッドマークを掲げて久々に瀬戸大橋を渡った。記念列車には定員いっぱいの110人が乗車し、うち40人は瀬戸大橋上でうずしお号を撮影できるツアーに参加した。高松駅では、佐々木龍次

駅長と台湾から インターン 中の大学生2人による出発合図があった。

佐々木駅長は「多くの先輩方が橋を守ってきた。これからもその歴史を受け継いで安全運行に努めたい」と話した。撮影ツアーに参加した 高松市 の鉄道カメラマン、坪内政美さんは「瀬戸大橋上で列車を見下ろしての撮影は初めて。35年前にこの橋ができたことに、改めて日本の架橋技術のすごさを実感した」と話していた。

一方、9日から快速マリンライナーの電車1両に開業35周年記念のロゴマーク入りヘッドマークが掲げられている。12月ごろまで走る。（福家司）

FB 動画

<https://www.facebook.com/watch/?v=742971020822235>

YOUTUBE 動画

<https://www.youtube.com/embed/nSpCfGhfkVI?start=298>

香川県の JR 四国（四国旅客鉄道株式会社）で一年間のインターンシップを行なっている四外四乙の涂琇婷さんと郭芝羽さんが、瀬戸大橋 35 周年記念列車の出発式に参加し、高松駅の佐々木駅長の隣で列車の出発を見送るという大役を果たしました。